

# 西部 水再生センター

## 概要

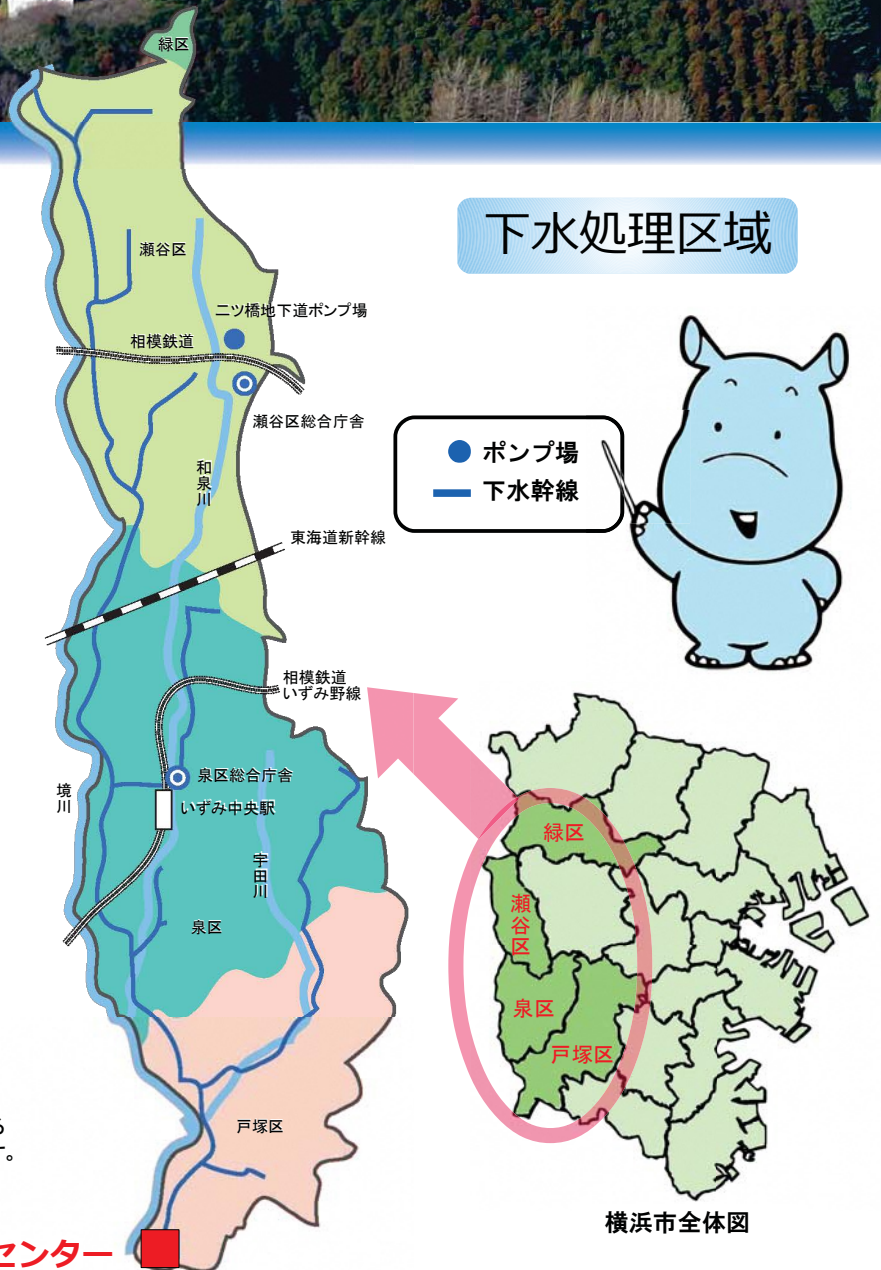
西部水再生センターは、横浜市の南西部に位置し、藤沢市との境にあります。処理区域は、瀬谷区・泉区の大部分、戸塚区の約1/3及び緑区のごく一部です。処理区域内の各家庭等から排出される汚水は、3本の汚水幹線により自然流下で西部水再生センターへ集められ、ここで処理した水を境川に放流しています。

処理過程で発生する污泥は、南部污泥資源化センター（金沢区）に送られ、他地区の水再生センターの污泥と一緒に処理されています。

当センターは、横浜で初めて処理施設（最初沈殿池、反応タンク）を二重に覆蓋し、脱臭設備を設けて周囲との環境調和を図っています。

所在地	横浜市戸塚区東俣野町231 電話：045-852-6471 FAX：045-852-7604
稼動年月日	昭和58年3月31日
敷地面積	104,940 m <sup>2</sup>
計画処理面積	3,813 ha
計画処理人口	270,300 人
計画処理能力	106,400 m <sup>3</sup> /日
放流水域	境川
污泥処理	南部污泥資源化センター（金沢区）へ圧送 ※災害時に圧送が不可能となった場合、隣接する藤沢市大清水浄化センターに汚泥を移送します。

## 下水処理区域

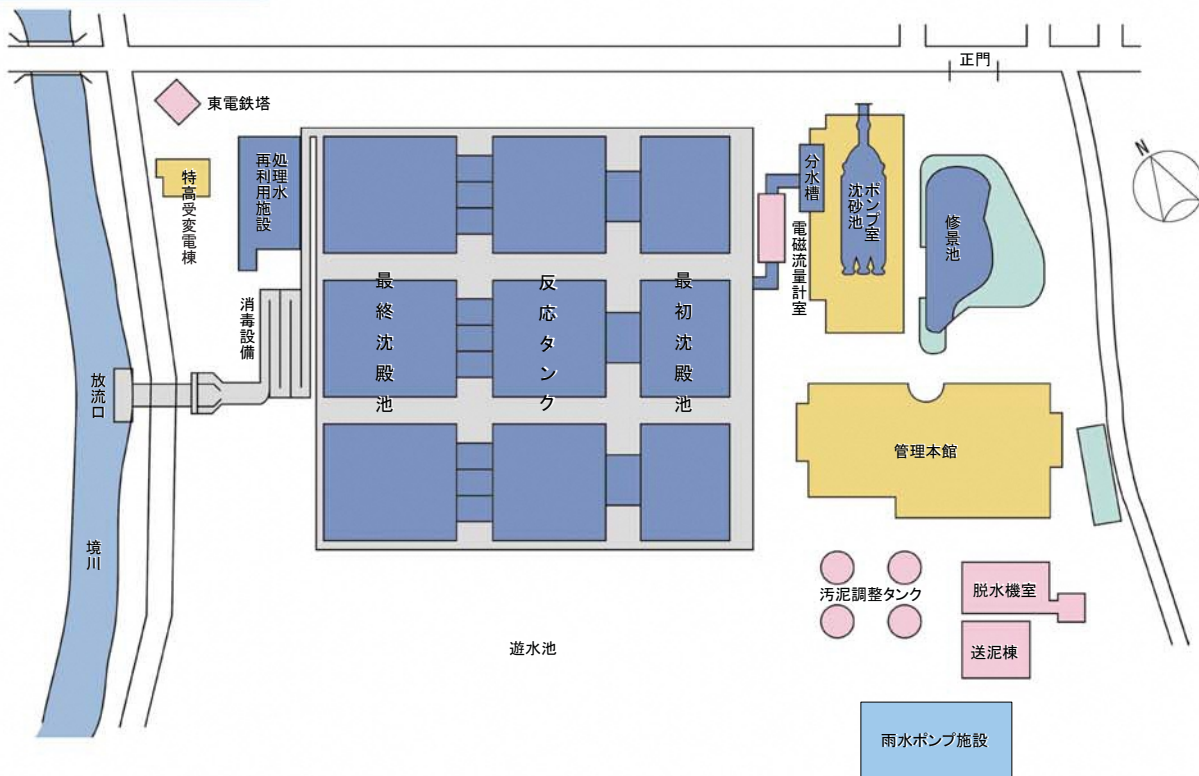


西部水再生センター

西部のウェブサイトはこちら

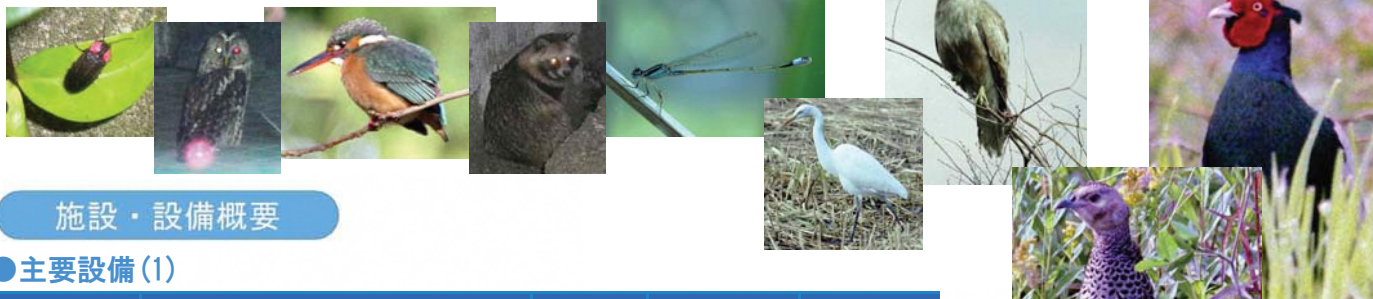
[https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasen-gesuido/gesuido/center/saisei\\_center/seibu/09wtc.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasen-gesuido/gesuido/center/saisei_center/seibu/09wtc.html)

## 平面図



## 特色

西部水再生センターは、豊かな自然環境にめぐまれた、完全分流式の下水処理場です。場内は生物多様性に富み、様々な生き物が共存しています。



## 施設・設備概要

### ●主要設備(1)

設備名	構造	滞留時間	有効容積	設置数
沈砂池	巾 3.2m × 長18.15m × 深1.55m	95 秒	74 m <sup>3</sup> /水路	3水路
最初沈殿池	巾16.2m × 長25.3m × 深3.1m	1.9 時間	1,271 m <sup>3</sup> /池	6池 (10池)
反応タンク	巾 8.3m × 長33.9m × 深9.0m × 2水路	7.5 時間	4,857 m <sup>3</sup> /池	6池 (10池)
最終沈殿池	巾16.2m × 長38.7m × 深3.4m	3.2 時間	2,132 m <sup>3</sup> /池	6池 (10池)
消毒設備	巾 2.6m × 長33.0m × 深3.0m × 5水路	19 分	1,287 m <sup>3</sup> /池	1池 (2池)

### ●主要設備(2)

設備名	構造	設置数
汚泥調整タンク	直径12.0m × 深4.0m	4基
汚水ポンプ設備	口径700mm × 1.1m <sup>3</sup> /秒 × 250kW	2台
	口径900mm × 1.8m <sup>3</sup> /秒 × 420kW	2台
	口径1,000mm × 2.2m <sup>3</sup> /秒 × 550kW	1台
送風設備	口径250mm × 120m <sup>3</sup> /分 × 180kW	2台
	口径400mm × 220m <sup>3</sup> /分 × 310kW	1台
	口径400mm × 250m <sup>3</sup> /分 × 355kW	1台
	口径400mm × 250m <sup>3</sup> /分 × 340kW	1台
自家発電設備	出力3,000kVA × 電圧6,300V	2台
雨水ポンプ設備	口径900mm × 1.825m <sup>3</sup> /秒 × 550kW	2台
	口径1,350mm × 3.650m <sup>3</sup> /秒 × 1,000kW	1台

### ●西部水再生センター所管の雨水排水ポンプ場

名称	揚水能力 (m <sup>3</sup> /分)	放流先	位置
ニツ橋地下道ポンプ場	9.60	和泉川	瀬谷区ニツ橋町372